



大分県立由布支援学校

校訓「明朗 努力 友情」

所在地 〒879-5406
 由布市庄内町西長宝 1796 番地
 電話番号 (097)582 - 0326
 F A X (097)582 - 0291
 U R L <http://shien.oita-ed.jp/yufu/>
 交通機関 JR久大線「小野屋駅」下車徒歩5分



1 設置学科、学年別学級数

普通科	1学年	2学年	3学年
職業生活科	1学級	1学級	1学級
生活教養科	1学級	1学級	1学級
訪問学級	—	—	—

2 高等部生徒数

	男子	女子	合計
1年生	6	3	9
2年生	7	1	8
3年生	3	1	4
合計	16	5	21

3 学校の特徴

○教育目標

人権尊重の精神を踏まえ、一人一人の特性や教育的ニーズに応じた教育活動を行い、生きる力の基礎基本を養うとともに、主体的に自立と社会参加をめざし、夢と希望を持って、心豊かに生きていく児童生徒の育成を図る。

○本校のあゆみ

昭和44年 4月 大分県立日出養護学校庄内分校として発足
 昭和49年 4月 大分県立庄内養護学校として独立
 平成16年11月 学校創立30周年記念事業
 平成19年 4月 大分県立新生養護学校高等部庄内分教室を開設
 平成22年 4月 (校名変更)
 大分県立新生支援学校由布分教室
 平成25年 4月 大分県立由布支援学校 高等部設置
 令和 6年11月 創立50周年記念式典

4 学校生活

【学習活動】

生徒一人一人の教育的ニーズや実態等に応じ、学習の形態を工夫して実施しています。

◀ 職業生活科 ▶

卒業後の職業的自立や社会参加に向けて必要な力を身につけるために、各教科の学習、自立活動、総合的な探究の時間等の授業を実施しています。特に、「産業現場等における実習」では、1年生は1週間を2回、2・3年生は2週間を2回に渡って企業や施設等で実施しています。

◀ 生活教養科 ▶

生活自立に必要な力を身につけるよう、各教科の学習、自立活動、総合的な探究の時間等の授業を実施しています。特に「産業現場等における実習」では、生徒の実態に応じて実習先を決定し、1年生は1週間を2回、2・3年生は2週間を2回に渡って施設等で実施しています。

【学校行事・授業】

運動会、長宝祭、修学旅行、校外学習等、生徒が主体的に取り組む行事が盛りだくさんです。また、「国際理解を深めよう」(総合的な探究の時間)の授業では、外国語指導助手の先生から直接外国の文化や言語を学んでいます。

【進路指導】

由布市や大分市の企業を中心に職場開拓を行い、生徒と企業のマッチングを図り、より良い進路先決定をめざしています。

～卒業後の進路～

令和7年度卒業生の進路先は、企業へ2名、福祉的就労6名、生活介護事業所へ4名です。
 今年度も高等部3年生の希望進路100%達成に向けた取組を進めています。

本校は、全校児童生徒数が69名と規模の小さな特別支援学校です。子どもたちは自然豊かな環境に囲まれ、毎日を楽しみ過ごしています。

教育相談や学校見学については、特別支援教育コーディネーターもしくは高等部主事までお問合せください。

TEL (097)582-0326



大分県立新生支援学校

《校訓》

あかるく
やさしく
たくましく

所在地 〒870-1155 大分県大分市大字玉沢 980-1
 電話 (097)541-0336
 FAX (097)541-2598
 HP <http://shien.oita-ed.jp/shinsei/>
 アクセス 大分バス JR大分駅より
 ・わさだタウン行き 約20分
 新生支援学校前バス停下車 徒歩1分
 ・野津原行き 約20分 宗方バス停下車 徒歩10分



1 設置学科、学年別学級数

普通科	1 学年	2 学年	3 学年
職業生活科	3 学級	2 学級	2 学級
生活教養科	2 学級	3 学級	2 学級
訪問学級	—	—	—

2 高等部生徒数

	男子	女子	合計
1 年生	1 9	7	2 6
2 年生	1 6	7	2 3
3 年生	1 2	5	1 7
合計	4 7	1 9	6 6

3 学校の特色

◇本校のあゆみ

昭和29年 5月 大分市立新生小学校開校
 昭和30年 4月 大分市立新生中学校併設
 昭和32年 4月 大分市立新生養護学校として開校
 昭和63年 1月 大分県立新生養護学校として開校
 平成6年11月 現在地に本校舎移転
 平成7年 4月 高等部開設
 平成16年11月 高等部設置10周年(創立50周年)
 平成22年 4月 大分県立新生支援学校に校名変更
 平成24年 4月 高等部に職業コース設置
 令和6年11月 創立70周年式典
 令和8年 3月 第29期生 33名卒業

◇教育目標

児童生徒の人権を尊重し、一人一人の能力・特性に応じたきめ細かな指導をとおして、現在及び将来の生活において自ら考え、表現でき、皆と協力して活動する心豊かな児童生徒を育成する。

4 学校生活

◇学習活動

生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学習形態を展開しています。

①職業生活科での学習

将来の職業自立、社会参加に向けて必要な力を身につける学習を行います。学びやすく、学習した内容を生活に生かすことができるように、教科別の学習(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭)ばかりでなく、各教科等を合わせた指導(日常生活の指導、生活単元学習、作業学習)にも取り組みます。職業生活科では2年次より職業コースを設置し、企業等への就労をめざした学習に取り組んでいます。

②生活教養科での学習

生徒の特性及び個性に応じ、社会生活での自立に必要な力を身につけるための学習を行います。

自立活動や各教科等を合わせた指導(日常生活の指導、生活単元学習)を中心に学習しますが、教育課程に応じて作業学習や教科別の学習にも取り組みます。

③産業現場等における実習(現場実習)

学習したことが身につけているかを確認したり、卒業後の進路について考えたりするために現場実習(卒業までに5回)に取り組んでいます。

◇特別活動

学校行事には、新入生を迎える会、玉沢祭(文化祭)、校外学習、修学旅行、3年生を送る会などがあります。

部活動は陸上部があり、体力の向上や個人記録の更新をめざして、特別支援学校高等部スポーツ大会をはじめとして各種大会に出場しています。

◇卒業後の進路(令和7年度:卒業生33名)

- ・一般企業(3名)
- ・就労継続支援A型(1名)
- ・就労継続支援B型(11名)
- ・デイケア(2名)
- ・生活介護(15名)
- ・その他(3名)

本校は、全校児童生徒が200名を超える大規模な特別支援学校です。職業生活科には2年次より職業コースを設け、一般就労をめざす生徒のニーズに応えるため、通常の作業学習に加えてメンテナンスや受注作業、ビジネスマナー等の学習に取り組んでいます。教育相談や学校見学は随時受け付けていますので、特別支援教育コーディネーターもしくは高等部学部主事までご連絡下さい。



大分県立大分支援学校

「明朗」「友情」「夢実現」

所在地 〒870-0261
大分県大分市大字志村 763 番地の 1
電話番号 (097) 527-2711
FAX 番号 (097) 527-2759
交通機関 JR 大在駅下車徒歩 20 分 タクシー5 分
U R L <http://shien.oita-ed.jp/oita>

1 設置学科

課程	学 科		高等部生徒数			
			1年	2年	3年	合計
全 日 制	普 通 科	職業生活科	22	18	11	51
		生活教養科	5	10	11	26
		訪問教育	0	2	0	2
	合計		27	30	22	79

知識や技能、態度を身につけ、将来の具体的な進路を決定していきます。

《「希望就労率 100%」の達成に向けた取り組み》

職業生活科には、主に企業就労をめざす「アタックコース」と、福祉的就労をめざす「チャレンジコース」のクラスを設置して、将来の職業自立につながる取り組みを行っています。生活教養科と併せ、「希望就労率 100%」をめざしています。また、卒業後 3 年間の追支援による、離職率ゼロ%をめざす取り組みも行っています。



<職業の様子>



<書道部の風景>

2 全校児童生徒数

小学部 119 名 中学部 83 名 高等部 79 名
合計 281 名

3 学校の特徴

(1) めざす生徒像

- ①明るく元気にすごす生徒
- ②自分のことは自分でしようとする生徒
- ③知識・技能を活かし、自ら気づき考えて表現しようとする生徒
- ④人とのかかわりを楽しみ仲良くする生徒
- ⑤夢の実現に向かって最後まで努力する生徒

(2) 高等部の歴史

平成 20 年 4 月 大分養護学校高等部を開設
平成 22 年 4 月 大分支援学校に校名変更
平成 24 年 4 月 職業生活科にアタックコース、チャレンジコースを設置

4 学校生活

(1) 学習活動

生徒自身の願いや思いを大切に、自立と社会・文化への参加をめざし、一人一人の障がいの状態や特性、発達の段階に応じた指導内容・方法で学習活動に取り組んでいます。

《「産業現場等における実習」の取り組み》

1 年次 10 日間、2 年次 20~30 日間、3 年次 20~25 日間の産業現場等における実習を行っています。仕事への意識を高めるとともに、働くことの楽しさや厳しさを体験し、自立に必要な

(2) 部活動

《スポーツ部（陸上競技、フットサル）》

知的障がい陸上協会、障がい者フットサルリーグ等の各種大会に出場しています。日々の練習はきつい時もありますが、楽しく体力やがんばる心が育っています。

《文化部書道（硬筆、毛筆等）》

毎年、高文連等の各種大会に出品しています。席上揮毫大会や全国特別支援学校文化祭、大分県書写書道展などに出品し、素直でのびのびとした筆遣いが「見る人の心を癒してくれる」とお褒めの言葉をいただいています。

《パソコン部》

Word による文書作成に取り組み、ビジネス文書実務検定の資格取得を目指します。社会生活に役立つ力を身につけます。

5 卒業後の進路

進路先	R5	R6	R7
一般企業等	2	4	2
就労継続支援 A 型	3	2	2
職業訓練等	0	0	0
就労移行支援事業等	4	0	4
自立・生活訓練事業	0	0	0
就労継続支援 B 型	12	11	10
生活介護事業	7	5	6
その他	0	1	4
合計	28	23	28



大分県立中央支援学校

校訓 明朗 健やか 感謝
えがお げんき おもいやり

郵便番号 〒870-0823
所在地 大分県大分市東大道 2-5-12
電話番号 097-543-0011 FAX 097-543-7007
URL <http://shien.oita-ed.jp/tyuuou/>
交通機関 JR大分駅南口から900m 徒歩13分

1. 設置学科 学年別学級数

全 日 制	1 年	2 年	3 年
生活教養科	1 学級	0 学級	2 学級
職業生活科	3 学級	4 学級	2 学級

2. 高等部生徒数 (学年別)

	男 子	女 子	合 計
1 年	1 3 名	1 2 名	2 5 名
2 年	1 5 名	1 2 名	2 7 名
3 年	1 4 名	2 名	1 6 名
合計	4 2 名	2 6 名	6 8 名

3. 学校の特徴

本校は大分市の中心部に位置し、周辺には多くの商業施設や文化施設があり、利便性に富んでいます。将来的に地域で豊かに生活していけるよう、駅や美術館などの公共施設の利用を学習活動に積極的に取り入れています。

(1) 学校の歴史

令和5年10月10日 大分県立中央支援学校 設置
令和6年 1月31日 改修校舎 竣工
令和6年 4月 1日 大分県立中央支援学校 開校

(2) 学校教育目標

児童生徒一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばす指導・支援を行い、将来の豊かな生活を実現するために必要な「生きる力」を育成する。

(3) 高等部の授業形態

教科別の指導	領域別の指導	各教科等を合わせた指導	総合的な探究の時間
国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 職業 家庭 特別の教科道徳	特別活動 自立活動	日常生活の指導 生活単元学習	ウェルビーイング タイム

3. 学校生活 (1) 学校の様子

スクールバス



教室



音楽教室



美術教室



パソコン作業室



作業室



製菓実習室

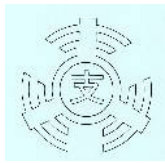


(2) 学習活動

高等部では、社会の様々な事柄に対しての興味・関心を深めながら、自立した生活に必要な力や社会生活に必要な力を身に付けていきます。職業の授業や産業現場等における実習をとおして、自己の進路について考え、選択していく学習にも取り組んでいます。また、2年次より一般就労等を目指す生徒に向けて職業コースを設け、メンテナンスや製菓実習等に取り組んでいます。

(3) 特別活動および学校行事

新入生を迎える会(4月)
現場実習(5、6、9、10、1、2月)
宿泊学習(7月)
修学旅行(10月)
オレンジ祭(11月)



大分県立臼杵支援学校

所在地 〒875-0083
 大分県臼杵市大字井村9 1 1番地
 電話番号 0972-62-3930
 FAX番号 0972-62-3089
 URL <https://shien.oita-ed.jp/usuki/>
 交通機関 JR熊崎駅下車1.9 km
 タクシー5分、徒歩20分

1. 設置学科・各生徒数 令和8年4月現在

学 科	生徒数							
	1年		2年		3年		計	
性 別	男	女	男	女	男	女		
普通科	職業生活科	2	1	6	1	3	2	15
	生活教養科	0	0	1	0	0	0	1
訪問教育	1	1	1	0	0	0	0	3
合 計	3	2	8	1	3	2		19

2. 学校教育目標

自ら学び、たくましく柔軟な心と身体を養い、自己選択・自己決定により、個性豊かに生きる人間の育成

3. 本校の歴史

昭和40年 4月 臼杵市立臼杵養護学校開設
 (福良ヶ丘小学校内)
 昭和54年 4月 県立移管により「大分県立臼杵養護学校」として発足
 同時に佐伯分校を開設
 昭和60年 4月 臼杵市井村(現在地)に移転
 津久見養護学校を統合
 平成6年 4月 高等部設置
 平成17年 4月 佐伯養護学校並びに竹田養護学校
 に本校の高等部分教室を設置
 平成22年 4月 校名を「大分県立臼杵支援学校」
 に変更
 平成28年 10月 創立50周年記念式典挙行
 平成31年 3月 スクールバス更新(2台)
 令和2年 9月 体育館大規模改修
 令和3年 1月 教室棟大規模改修



～広々とした農場から望む高等部棟～

4. 設置学科と学習内容等

【職業生活科】

職業自立、社会参加に向けて必要な力を身につけ、企業や移行支援及び就労継続支援A型・B型などの福祉事業所での就労を目標とする生徒を育成します。

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭の教科をはじめ、特別の教科道徳、自立活動、特別活動、総合的な探究の時間などの学習を行います。

また、職業に関する教育の一環として産業現場等における実習(現場実習)があります。

【生活教養科】

基本的な生活習慣の確立をめざし、日常生活を営む上で必要な知識・技能の向上を図り、健康で豊かな生活を過ごすための力を養う学習を行います。

自立活動を中心とし、音楽、総合的な探究の時間、特別活動等は、職業生活科と合同で学びます。

また、生徒の実態に応じて、他の教科学習を行います。

5. 地域性を活かした学校の特徴

全校児童生徒と地元の企業との協働による味噌作り、地域の書道家の先生を招いて書道教室を開催するなど、地域と共にある学校づくりをめざしています。

<大豆の栽培・収穫・選別>

<生涯学習>



<書道教室>

6. 卒業後の進路先

一人一人の特性を活かし、本人・保護者の希望を大切にしながら、自立と社会参加をめざした進路選択を支援します。

進路先/卒業年度	R5	R6	R7
企業等	1	1	0
就労継続支援A型	0	1	0
就労継続支援B型	3	1	3
就労移行支援	0	0	0
地域活動支援	0	0	0
生活介護事業	0	0	0
自宅・施設等	2	0	1



大分県立佐伯支援学校

校訓 元気がよく 佐伯人

所在地 〒876-2121 佐伯市大字木立 839 番地の 5
電話番号 0972-28-3144
FAX 番号 0972-28-3145
ホームページ <https://shien.oita-ed.jp/saiki/>
交通機関 JR 佐伯駅より大分バスで畑の浦経由蒲江行き
25 分 狐窪バス下車 徒歩 2 分

1 設置学科 学年別学級数

	1 学年	2 学年	3 学年
職業生活科	1 学級	1 学級	2 学級
生活教養科	2 学級	1 学級	2 学級
計	3 学級	2 学級	4 学級

2 高等部生徒数

	1 学年	2 学年	3 学年	計
職業生活科	8	6	10	24
生活教養科	4	3	4	11
計	12	9	14	35

3 本校の特色

〈学校沿革〉

昭和 54.4.1

大分県立臼杵養護学校佐伯分校として開設

昭和 56.4.1

大分県立佐伯養護学校として独立

昭和 63.4.1

佐伯市木立に新校舎移転、開校

平成 17.4.1

大分県立臼杵養護学校高等部佐伯分教室設置

平成 22.4.1

大分県立佐伯支援学校

大分県立臼杵支援学校高等部佐伯分教室へ校名変更

平成 23.4.1

高等部棟完成・高等部教室移転

平成 25.4.1

大分県立佐伯支援学校高等部設置

令和 3.10.30

創立 40 周年記念式典挙行

〈学校教育目標〉

◎地域でたくましく、個性豊かに生きる人間の育成

- ・心身とも健康で、生活に必要な知識・技能を身につけ、学習したことを活かしてよりよい生活を送る。
- ・学習したことを活用し、自ら考え、決めて、伝え、自分らしく生きようとする。
- ・地域・社会の一員として自らの役割を果たし、周囲の人と関わり、自他を尊重しながら協働する。

★教育相談、学校見学は、随時受け付けています。特別支援教育コーディネーターもしくは、高等部主事まで連絡してください。



高等部棟

4 学校生活

高等部は普通科で、職業生活科(単一障がい)と生活教養科(重複障がい)を設置しています。

生徒一人一人の実態やニーズに応じて適用する教育課程を決定します。それぞれの教科で、クラス別や学年別、学年を超えたグループで学習を進めていきます。また、全ての指導形態について「個別の指導計画」を作成して、細やかで見通しのある指導を行います。

〈産業現場等における実習〉

学習の成果を発揮するとともに、卒業後の進路を選択・決定するために、企業や福祉事業所等で実習を行います。卒業までに計 5 回(1 回あたり 10 日程度)の実習に取り組みます。

〈学校行事〉

風の子まつりなど楽しい行事がたくさんあります。総合的な探究の時間で、日本文理大学附属高校の生徒との交流及び共同学習も行っています。

〈その他の活動〉

部活動で陸上競技を行っています。週 1 回 1 時間程度活動しており、大分県特別支援学校高等部スポーツ大会や地域の大会に参加しています。

〈スクールバス〉

佐伯・弥生方面と鶴見・蒲江方面に 1 台ずつのスクールバスを運行しています。

〈令和 7 年度の進路先〉

○就労継続支援 B 型 5 名



大分県立竹田支援学校

<校訓> 『あかるく なかよく げんきよく』

<めざす児童生徒像>

- あかるく …あいさつや返事が適切にでき、決まりを守ることができる児童生徒
- なかよく …自分の思いを伝えることができ、相手の話を聞くことのできる児童生徒
- げんきよく…皆と協力し、活動を最後までやり遂げようとするこことのできる児童生徒



学校全景

所在地 〒878-0023 大分県竹田市大字君ヶ園 1170
 電話番号 0974-63-0722
 FAX 番号 0974-63-1082
 交通機関 JR 玉来駅下車 1Km 徒歩 15 分

1 設置学科(普通科)

	1年	2年	3年
生活教養科	0学級	0学級	1学級
職業生活科	2学級	1学級	1学級

2 高等部生徒数

	1年	2年	3年	計
生活教養科	0	0	1	1
職業生活科	11	7	4	22
計	11	7	5	23

3 学校教育目標

児童生徒一人一人の尊厳を重んじ、きめ細かな指導を通して、個々の能力や適性を伸ばし、今と将来を主体的に生き、社会の中で協力しながら心豊かに生活する児童生徒を育成する。

4 学校の沿革

- 昭和 40 年4月 竹田市立豊岡小学校内に 竹田市立竹田養護学校開校
- 昭和 45 年4月 県立移管により 大分県立竹田養護学校と改称
- 平成 17 年4月 大分県立臼杵養護学校高等部 竹田分教室併設
- 平成 22 年4月 大分県立臼杵支援学校高等部 竹田分教室に改称
- 平成 25 年4月 大分県立竹田支援学校高等部を新設

<学科の特色>

[生活教養科]

将来の生活自立をめざす教育を行っています。将来の生活を具体的に描き、個々の実態やニーズに応じて必要な内容を設定して学習をしています。

[職業生活科]

将来の職業自立(作業所等の福祉的就労及び一般就労)をめざす教育を行っています。社会生活、職業生活に必要な基礎知識・技能を身につけ、働くことへの意欲・態度を養うための学習の充実を図っています。

5 学校生活

(1) 特色ある学習活動

<産業現場等における実習>

生徒や保護者の希望、生徒の実態・適性・環境(通勤方法・職場の雰囲気)等を考慮しながら卒業後の進路選択・進路決定につなげていくことを目的として、近隣の事業所・福祉施設に協力いただき、年2回(10日ずつ計20日)の実習に取り組んでいます。



<交流及び共同学習>

大分県立竹田高等学校と学校間交流を行っています。文化祭等をとおして、友好を深めています。

(2) 他の主な行事

校外学習、修学旅行、なかよしまつり(学習発表会)、持久走記録会などがあります。

(3) 卒業後の進路先

<令和7年度 卒業生の進路先>

- 福祉的就労 A 型 社会福祉法人 幸福会 ソレイユ
- 福祉的就労 A 型 合同会社 ロイヤルウオッシュ
- 福祉的就労 B 型 社会福祉法人幸福会 ロワ・ソレイユ
- 福祉的就労 B 型 合同会社 アヤカリン AKARI
- 福祉的就労 B 型 有限会社 飛来来
- 福祉的就労生活介護 社会福祉法人 偕生会 新星館
- 福祉的就労生活介護 Teto Company Haru+



大分県立日田支援学校

〈校訓〉

元気に なかよく がんばる子

所在地 〒877-1352
日田市大字西有田 2941 番地の 1

電話番号 0973-24-2000
FAX番号 0973-24-2001
U R L <http://shien.oita-ed.jp/hita/>
交通機関 日田バス高速日田停留所下車
徒歩 20 分 (約 3 km)



1 設置学科 (コース)

	1 学年	2 学年	3 学年
職業生活科	2 学級	2 学級	3 学級
生活教養科	2 学級	1 学級	1 学級

2 高等部の生徒数

	男子	女子	合計
1 学年	5	8	13
2 学年	9	4	13
3 学年	16	2	18
合 計	30	14	44

3 本校教育の概要

(1) 学校のあゆみ

昭和 36 年 日田市立月隈小学校特殊学級として発足
昭和 40 年 日田市立日田養護学校として独立
昭和 58 年 県立移管
平成 8 年 高等部開設
平成 22 年 大分県立日田支援学校に校名変更

(2) 学校教育理念

児童生徒一人ひとりのかけがいのない
「命・未来」を預かり、一人ひとりの未来に
きちんとつないでいく。

(3) 学校教育目標

心豊かに たくましく みんなとともに
自分らしく 生きる 児童生徒の育成

4 学校生活

(1) 学習活動

高等部では、夢や希望・憧れの実現に向かって個々の適性に応じた指導を行い、一人一人の持てる力を伸ばします。

○職業生活科 (単一障がい学級)

職業を中心とした教科学習や自立活動、総合的な探究の時間等をとおして、卒業後の社会生活に必要な力を身に付け、主体的な進路選択を支援します。また、職業教育の一環として行う産業現場等における実習では、実践的な学習で自己の働く意欲や態度の向上を図ります。

○生活教養科 (重複障がい学級)

卒業後の社会参加に向けて、日常生活の指導や生活単元学習、自立活動を中心に取り組み、より自分らしく豊かな生活を送るための基盤を育みます。

(2) 地域資源・人材を活用した学習

農業班では、近隣梨園の協力を得て、「授粉、袋掛け、収穫、枝拾」の作業を年間をとおして行い、地域資源・人材を活かした授業を展開しています。また、地域の行事である「西有田まつり」にも参加し、職業で制作した製品の販売を行っています。



(3) 卒業後の進路 (令和 7 年度卒業生 11 名)

一般就労 (A 型を含む)	6 名
就労移行支援事業所	0 名
就労継続支援 B 型事業所	5 名
自立訓練	0 名
生活介護事業所	0 名